



山と海と里と

潮風薫り、きらきら光る水面と青い空、
育み、営み、憩いもたらず、ふるさとの緑

南越前町は、福井県のほぼ中央、嶺北地域の南端に位置し、北は越前市、越前町と池田町、東および南は岐阜県・滋賀県、西は敦賀市と日本海に接する山、海、里の地形の変化に富んだ自然豊かな町です。

町土面積は福井県全体の8.2%にあたる343.69km²を有します。

地形は極めて急峻であり、総面積の約92%が山林で占められ、海岸部は標高差200〜300mで平均斜度35度の甲斐城断層と呼ばれる断層海岸となっています。冬は「越前加賀海岸国定公園」にも指定されている海岸線一帯に、可憐な越前水仙の花を咲かせます。

また、田倉川や鹿森川等が合流した日野川が町の中央を南北に流れ、河川沿いに田園風景が広がります。

気候は、平野部と山間部、海岸部と大きく異なります。平野部は、内陸型で比較的暖かい気候ですが、山間部は寒暖の差が激しく、

県下有数の多雪地帯で、昭和51年には特別豪雪地帯（今庄地域のみ）に指定されています。

一方海岸部では、対馬海流の影響により温暖な気候で、積雪はほとんどありません。

